

## 大齋節第2主日特禱

全能の神よ、わたしたちは自らを助ける力のないことをあなたは知っておられます。どうか外は体を損なうすべての災いを防ぎ、内は魂を襲う悪念を除いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

## 旧約聖書 創世記 15章 1-12, 17-18 節

1 これらのことの後、主の言葉が幻の中でアブラムに臨んだ。「恐れるな、アブラムよ。私はあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」2 アブラムは言った。「主なる神よ。私に何をくださるというのですか。私には子どもがいませんのに。家の跡継ぎはダマスコのエリエゼルです。」3 アブラムは続けて言った。「あなたは私に子孫を与えてくださいませんでした。ですから家の僕が跡を継ぐのです。」4 すると、主の言葉が彼に臨んだ。「その者があなたの跡を継ぐのではなく、あなた自身から生まれる者が跡を継ぐ。」5 主はアブラムを外に連れ出して言われた。「天を見上げて、星を数えることができるなら、数えてみなさい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのようになる。」  
創 15:6 アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。7 主は言われた。「私はこの地をあなたに与えて、それを継がせるために、あなたをカルデアのウルから連れ出した主である。」8 アブラムは尋ねた。「主なる神よ。私がそれを継ぐことを、どのようにして知ることができるでしょうか。」9 主は答えられた。「三歳の若い雌牛、三歳の雌山羊、三歳の雄羊、それに山鳩と鳩の雛を私のもとに持って来なさい。」10 アブラムはこれらのものをみな持って来て、真ん中で二つに切り裂き、切り裂いたものを互いに向かい合わせて置いた。鳥は切り裂かなかった。11 猛禽がこれらの死体の上に降りて来ると、アブラムはそれらを追い払った。12 日が沈みかけた頃、アブラムは深い眠りに落ち、恐怖と深い闇が彼を襲った。

17 日が沈み、暗くなった頃、煙を吐く炉と燃える松明がこれらの裂かれた動物の間を通り過ぎた。18 こうしてその日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫にこの地を与える。エジプトの川からあの大河ユーフラテスに至るまで。」

## 詩 編 第27編

- 1 主はわが光、わが救い。私は誰を恐れよう || 主はわが命の砦。私は誰におののくことがある
- 2 悪をなす者が私の肉を食らおうと近づくとき || 私を苦しめる者、私の敵のほうか、かえってつまずき、倒れる
- 3 たとえ、軍勢が私に対して陣を敷いても、私の心は恐れない || たとえ、戦いが私に向かつて起こっても、私の信頼は揺るがない
- 4 私が主に願った一つのこと、私はそれを求め続けよう || 命のあるかぎり主の家に住み、主の麗しさにまみえ、主の宮で尋ね求めることを
- 5 災いの日に、主は私を仮庵に隠し || 幕屋の隠れ場にかくまい、大岩に高く引き上げて

くださる

- 6 今や、私の頭は群がる敵の上に高く上げられる || 主の幕屋で歓声をいけにえとして献げ、主に向かって歌い、ほめ歌を歌おう
- 7 主よ、呼びかける声を聞いてください || 私を憐れみ、教えてください
- 8 あなたに私の心は言いました「私の顔を尋ね求めてください」と || 主よ、私は御顔を尋ね求めます
- 9 御顔を私から隠さず、怒りによって僕を退けないでください。あなたは私の助けとなつてくださいました || 私を置き去りにせず、見捨てないでください、わが救いの神よ
- 10 父と母が私を見捨てようとも || 主は私を迎え入れてくださいます
- 11 主よ、あなたの道を示し || 敵対する者のゆえに、私を平らな道に導いてください
- 12 私を苦しめる者の思いのままにさせないでください || 偽りの証人と暴言を吐く者が私に向かって立ち上がりました
- 13 私は信じます || 生ける者の地で主の恵みにまみえることを
- 14 主を待ち望め || 勇ましくあれ、心を強くせよ。主を待ち望め

### 使徒書 フィリピの信徒への手紙 3章17－4章1節

17 きょうだいたち、皆一緒に私に倣う者となりなさい。また、あなたがたと同じように、私たちを模範として歩んでいる人々に目を向けなさい。18 何度も言ってきたし、今また涙ながらに言いますが、キリストの十字架の敵として歩んでいる者が多いのです。19 彼らの行き着くところは滅びです。彼らは腹を神とし、恥ずべきものを誇りとし、地上のことしか考えていません。20 しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから、救い主である主イエス・キリストが来られるのを、私たちは待ち望んでいます。21 キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、私たちの卑しい体を、ご自身の栄光の体と同じ形に変えてくださるのです。

4:1 ですから、私が愛し、慕っているきょうだいたち、私の喜びであり、冠である愛する人たち、このように、主にあってしっかりと立ちなさい。

### 福音書 ルカによる福音書 13章31－35節

31 ちょうどその時、ファリサイ派の人々が何人か近寄って来て、イエスに言った。「ここを立ち去ってください。ヘロデがあなたを殺そうとしています。」32 イエスは言われた。「行って、あの狐に、『私は今日も明日も三日目も、悪霊を追い出し、癒やしを行うことをやめない』と伝えよ。33 ともかく、私は、今日も明日も、その次の日も進んで行かねばならない。預言者がエルサレム以外の所で死ぬことは、ありえないからだ。34 エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、自分に遣わされた人々を石で打ち殺す者よ、めんどりが雛を羽の下に集めるように、私はお前の子らを何度集めようとしたことか。だが、お前たちは応じようとしなかった。35 見よ、お前たちの家は見捨てられる。言うておくが、お前たちは、『主の名によって来られる方に、祝福があるように』と言う時が来るまで、決して私を見ることはない。」